
現代の就職難についての私なりの考察『就職難というのは如何なものか（介護現場限定）』

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

現代の就職難についての私なりの考察『就職難というのは如何なものか（介護現場限定）』

【Nコード】

N73140

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

現代の就職難に関する私の考察

（前書き）

就職難って何なんですかねえ。

現代、就職難と言われ、就職難民が多く存在するとされている。就職難民とは、就職活動を行えど就職出来ない者達の事を言う。しかし、本当に現代は就職難民が多く存在する状態なのであるのか。

私は現在、老人ホームと言われる職場に身を置いている。実質、老人ホームという職場は低賃金、重労働という事もあり、定職者が少ない現状にある。数多の施設が求人広告や求人情報誌などに求人を告知し、職員の募集を呼び掛けている。

しかし、どの施設においてもその求人状態は収まりをみせていない。私が身を置く施設もまた然りである。

求人と呼び掛け面接に来る者の数は少ない。しかし、その中から一次選考（書類審査）を突破し、二次選考（面接審査）に辿り着き、それを突破し、職員となる者も確かにいる。しかしこれからが本題である。職員になったにも関わらず、その職務を三日や四日強いては一週間という期間だけ働き、辞めていく者が後を絶たない。

これである。これこそが、私の疑問とする点なのである。就職難、就職難民の増加という言葉を聞く一方、就職しても、すぐに辞めてしまう。もし本当に就職出来ない困っているならば、意地でも食らい付き辞めさせられないようにしようとするのが、本質ではなからうか。それを三日や四日強いては一週間で辞めていく。この短い期間に何を見たのであろうか。何を感じたのであろうか。私はそれが不思議でたまらない。

これを基に私なりに、今の就職難及び就職難民についての結論を出してみた。

それは、現代は就職難の時代ではなく、就職先を選択してなかなか決まらないで悩んでいるだけの時代なのだと。就職を求める

者は、極論高賃金、軽労働（高賃金、重労働もあると考える）を求め、さ迷い歩く就職放浪者なのである。就職難民などとおこがましい物ではなく就職放浪者なのだ。就職先は数多に存在するものの、就職者が就職先を選別しているのである。これは就職難ではない。私はそう考察しこの短い案件を閉じさせて頂く。この件に関し賛否両論あるであろうが、これは私の辿り着いた結論に過ぎない為、どう感じて頂くが自由である。

（後書き）

仕事を求めている人は、何を求めているんでしょうかね？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7314o/>

現代の就職難についての私なりの考察『就職難というのは如何なものか（介護

2010年11月6日13時26分発行